

第4回白河市複合施設整備基本計画検討懇談会 議事録

- 1 日 時 令和2年3月27日（金）13：30～15：00
- 2 場 所 マイタウン白河 2階 中会議室1
- 3 出席者
 - 会 長：市岡 綾子 （日本大学工学部 専任講師）
 - 副会長：藤田 龍文 （株式会社楽市白河 取締役副社長（白河市中心市街地活性化協議会））
 - 委 員：石川 格子 （公募）
 - 菊地 一寛 （白河市健康づくり推進協議会 委員）
 - 君島 正信 （白河市地域活性化協議会等連絡調整会議 会長）
 - 鈴木 茂毅 （白河医師会 会長）
 - 鳴島 あや子（白河市公民館運営審議会 副委員長）
 - 事務局：鈴木 市長公室地域政策担当理事、今村 参事兼企画政策課長、渡邊 課長補佐
兼企画政策係長、仁平課長補佐兼政策推進係長、八巻 主査、関根 副主査
 - その他：（株）オリエンタルコンサルタンツ2人（山本、石田）
- 4 次 第
 1. 開 会
 2. 議 事
 - (1) 複合施設整備基本計画のたたき台について
 - (2) その他
 3. 閉 会

<議事概要>

【会長】

コロナウイルス感染予防の観点からも、会議は極力長引かないよう事務局からお願いされておりますので、委員の皆様にもご協力をお願いいたします。

本日は第4回目の懇談会ではありますが、複合施設整備基本計画のたたき台について、検討いたします。たたき台につきましては、事前に配付されております資料になります。では、まず議事の（1）複合施設整備基本計画のたたき台について、事務局から説明をお願いいたします。

（1）複合施設整備基本計画のたたき台について

（資料1、資料2により事務局説明）

【会長】

ありがとうございます。本日は、資料2の15ページにあります、整備コンセプトについて、皆さんから活発な意見をいただきたいと思います。16ページには、コンセプト6案が示されていますが、1案は当初より事務局が例示してきたもの、2案から6案については、今まで委員の皆さんのご意見を踏まえて事務局で作成したものになります。この6案の中から選ぶか、案の中で言葉を入れ替えるのか、若しくは、他の言葉を入れた方がいいのか、ご意見を伺います。どなたからでも結構ですので、多くのご意見を賜りたく存じます。よろしく申し上げます。

【委員】

コンセプトの設定について、これまでの会議や市民アンケートの結果を踏まえた内容になっていますので、示された案からはあまり外れないで考えていけばいいと思います。健康増進と防災対策と子育て支援と生きがいがづくりが4本柱だということですが、健康増進というのは、保健センターが移ってくるということですね。防災対策というのは、何か災害があった時の防災拠点だということです。そうすると、この場合、例えば物資、そのような備蓄を兼ねている所、そのような考え方でいいですか。

（事務局）

防災対策機能ということで、まず行政機能としましては、防災に関連するような、市役所の部署が事務所を設けることが1つです。それに併せまして、災害が発生した時の災害対策本部を行うような、そういった機器が揃ったような部屋を整備することが考えられます。もしくは今ご指摘のような、災害の時に対応できるような備蓄機能も検討す

る必要があります。この複合施設なのか、本庁舎なのか、そこは検討しながら、備蓄機能も整えていきたいと考えております。

【委員】

3番の子育て支援ですね。これは1つ目玉だと思います。要するに、お子さんがまた来たくくなるような、親がまた来たくくなるような、そういった施設の目玉、そういったものを作っていただいた方がいいと思います。

それから生きがいつくり、これは生涯教育センターと同じことだと思いますが、他のものを全部まとめるということですか。

(事務局)

そこまで決まってございませんが、資料で申し上げますと、24ページに示したような表の生きがいつくり機能というところに記載したようなものを、現時点ではイメージしてございます。まだ具体的に何をどうする、というところまでは絞り込んでございませんが、現時点ではこのようなものを想定して考えております。

【委員】

いま白河市内で言うと、集会的な施設に市民が集まって、何か色々やっているのですね。そういうものを無くしちゃって、ここに集めるという意味ではないですか。

(事務局)

そういうことはありません。

【委員】

随分大きなスペースでしたが、このぐらい必要なのですか。

(事務局)

他の先進事例を見るとか、あるいはこういったものを面積的に積み上げると、このぐらいになるのではないかと考えています。

【委員】

具体的にはまだ分からない、ということですね。

もう一つお聞きしますが、本庁舎と新しくできる複合施設の間は市道だということですか。

(事務局)

はい、そうです。

【委員】

小峰通りは市道ですか。

(事務局)

小峰通りは県道です。

【委員】

小峰通りに駐車場のスペースはできないですか。

(事務局)

小峰通りを潰してということですか。

【委員】

はい。

(事務局)

それは難しいですね。

【委員】

ありがとうございました。

【会長】

他の表現やこの言葉はコンセプトイメージに合わないのでは等、何かございますか。

(事務局)

補足なのですが、この16ページの6案は、元々は5案でした。前回の懇談会の中で、キーになるのは、「つながる」になってくるのではないか、という意見がありましたので、6案として「つながる」というものを加えております。

【会長】

あまり誘導になってしまうといけないのですが、「つながる」という言葉は、人と人が繋がるという意味があります。あるいは、この前も出ましたが、この施設に無い機能を他の施設が持っているとするれば他の施設とも繋がることや顔と顔が繋がるなど、色々な

意味があります。復興に向けた絆などということもありますし、1つ「つながる」というのは大きなポイントになるのではないかと個人的には考えております。あと、笑顔というのは、明るさということで、当然健康でなければ笑顔というのは出てこないところでしょうし、笑顔でいることが健康に繋がる、というエビデンスもあるようです。そういった意味で、健康の象徴的な意味合いとして、笑顔という言葉が考えられます。それから人と人、施設と施設、心と心、様々なものが繋がっていくというところと、「ほっと」というのは温かくて、安心感があって、というようなイメージです。場所の表現としてはベースやプレイスなどでも良いのかな、という話もありました。ベースと言うと何となく軍隊をイメージしてしまうというか、義務的にキチキチと物事をこなす基地みたいなイメージになってしまうので、目的を持って集まる場所という意味となるとプレイスでも良いのかな、などと話したところでございます。

【委員】

幼稚な言葉で申し訳ないのですが、私がこの間の会議の後で考えていたのは、この高齢化社会でいうと、どうしても活力とか、お元気とか、生き生きとかと言うと、どうしてもイメージするのが高齢者になります。これで見ると、全世代に渡ってということなので、私は平仮名で「みんなの」というキーワードが、全世代型ということで、それからまた今の話の「つながる」というふうな例えが、用語の中に共通するワードとして、一応「みんなの」というのが、どこかに入れ込めたらいいのかなということは思ったのですが、どんな言葉をつけても、どうしても高齢者をイメージしてしまうので、そういうところで、世代を限らない、というところを入れたいと思います。

【会長】

平仮名の「みんなの」ということですね。

【委員】

そうですね。「みんなが」とか「みんなの」とか、そのような世代というような意味を込めたものが良いと思います。

【会長】

今デフォルトになっているのは、「何々の何々」になっていますが、「みんなの何々」とか「何々のみんなの何々」とどちらでもなるということなので、収まりが良いと思います。

【委員】

ワードにはこだわらず、「みんなの」と付けたいです。

【会長】

分かりました。「みんなの」という言葉を入れることに関しては、他の方はどうですか。

<異議なしの声>

【委員】

「コミネス」とか「リブラン」とかなんとなくカタカナが良いかと思います。コミュニティが入れば良いかなと思うのですが、どうですか。

【委員】

全てを覆す意見になってしまうかもしれませんが、まず、カタカナとか英語ベースのものは有りがちです。「全世代に」や「共通に」となると、なかなかそこを入れるというのが難しいのかなと思って、みんなの話を聞いていて、いいなと思っていたのですが、「みんなの」と入れると、名前が長くなるのかなと思っています。私的には、名前は短い方がいいかなと思っていたので、そこは「全世代の何々」の方がすごく言いやすいし、活用しやすいイメージがあるなと思ったのが1つです。

あと、「つながる」とか「絆」とかそういうキーワードを出していただきましたが、私はそれからもう少し先に行って、繋がったところで絆が出来たことで、どのような白河市をイメージしているのか、ということ考えた時に、キラキラしたイメージとか、そういった施設名になると良いのかなと思いました。「きらら」という名前はどうかかなと思ったのですが、「つながる」というのが国見町にあり、「きらら」というと老人ホームがありそうです。そういったイメージがもし市民の中にあるとすると、考えていかなければいけないのかなと思いました。

【会長】

施設名はまだまだ先の話でして、今はコンセプトを決めるということなので、何々の何々とか、五七五ぐらいの感じのイメージをしているので、私の意見とすると、「繋がった後、何何になりましょう」というイメージになるといいな、と思っています。

今は繋がってほっとするという感じになっています。しかし、「ほっとベース」よりも積極的なアクティブなことを考えると、「ほっとする」よりもアクティブな言葉になるでしょうし、「ほっとした」ということになると、今おっしゃられた、笑顔がつながる、という感じの言葉になります。そのあたりのところを決めていければ、と思っています。

(事務局)

改めて、この整備コンセプトの意味合いを、少しご説明いたします。

いま会長がおっしゃったように、施設の愛称、キャッチフレーズは、施設が完成した後に決めていきます。例えばコミネスですと、市民文化交流館というような条例上の名前はありますが、それでは親しみが無いということで、愛称として「コミネス」という施設の名称が出来ました。今回の整備コンセプトは、この計画の中で、施設をこのようなあるべき姿にしたい、こういう施設になったらいいね、というような思いを込めて、あるべき姿を設定するものです。ですので、施設完成後に、愛称については例えば一般的に公募して決めるなどが考えられます。ここではこの健康増進、防災対策、子育て支援、生きがいがづくり、これをひっくるめて、こういう機能が入って、最終的に市民の方から見て、こういう施設になったらいいね、というようなあるべき姿と言いますか、目標とか、そういった趣旨で、整備コンセプトを決めたい、と考えています。

【会長】

先ほど意見がありました、また行きたくなるのか、どんな世代でも行きたくなるというようなイメージで、ほっとプレイスとか、広場とかもいいですね。

【委員】

「集いの広場」という場所がありますか。

(事務局)

白河市では無いと思います。

【委員】

「みんなの集いの広場」はありそうですね。

【委員】

5案が良いのではないかと思います。「いきいきあんしん」というのも、とても良いなと感じました。

【会長】

「いきいきあんしん」が良いとなると、例えば「笑顔がつながる いきいきあんしん」というのも言えますね。「いきいきあんしん」「ほっと」という前向きなイメージになりますし、雰囲気が良いかと思えます。

【委員】

今のコンセプトの最後のワードは、場所を示す言葉に全てなっているのですが、これは構成を考えておられますよね。

(事務局)

その方が、最終的にイメージが付きやすいとの考えから、最後は場所を表すということで、縮めております。

【委員】

対象、雰囲気、何かで、最後に場所、というふうなコンセプトの決め方ということですね。消去法なのですが、委員がおっしゃったように、白河モールと言うと、やはりどうしてもベシアを思い出してしまいます。ベシアという商業施設があるのですが、私が文化交流館で勤務した時に、知人から文化交流館という名前を付けるのはやめてくれないか、と言われてました。理由は中田にある建物が、文化交流館という名前を先に使っていたので、ということでした。ただ、この中で言っている白河モールというのは、気持ちは分かるのですが、モールという言葉ではない方が良いのではないかと思います。それ以外のワードについては、良いと思います。あと、おっしゃられたとおり、「ベース」という言葉は、やはり強制的なところも、基地的な、強いられているという所もあるのと、基点という意味もあるということかと思えます。あと「ランド」については、「健康ランド」と、どうしても民間施設をイメージしてしまうことがあるので、場所というキーワードとかで、ご意見を出していただくのがいいのかな、というのがあります。それ以外の雰囲気についてのキーワードはなかなか良いと思います。

【委員】

やはりカタカナとかを使うよりも、こういった全世帯を対象にする施設ということであれば、小さい子とか誰が聞いても分かりやすい平仮名を付けるのが、イメージしやすいかと思えますので、それでいいのかなというふうに思います。「みんなの笑顔がつながる いきいきあんしん広場」とか平仮名を使うと、イメージが湧きやすいかと思えます。

【会長】

委員がおっしゃっていただいた「笑顔がつながる いきいきあんしん広場」、「みんなの笑顔がつながる いきいきあんしん広場」、「笑顔がつながる いきいきあんしん みんなの広場」、そのような感じかと思えますが、いかがでしょうか。

【委員】

整備コンセプトは、一般の市民の方に直接見せるものではないので、最終的に一般の方が施設の名前とかそういうものであって、整備コンセプトを進めていく中での整備のコンセプトだと思いますので、「みんなの笑顔がつながる ほっとベース」というのが良いと思います。私としては、語呂的にも3案が良いかなと思っています。どうしても基

本の所に「つながる」という言葉が大事とか、整備コンセプトの設定として生きがいという部分が出てくるので、その言葉も何かないかなと考え、英語にしたらどうかとも思いました。しかし、簡単な言葉で分かりやすいのをコンセプトにすると良く、さっきの1案から6案の中で、皆さんの意見を聞くと、それでよいという感じです。

【会長】

「いきいき」という言葉に生きがいをイメージできると思われまので、それを何とか活かすという目的を示すとすると、「みんなの笑顔がつながる いきいきあんしん広場」みたいな感じになります。それだと結構長くなるので短くまとめると、「みんなの笑顔がつながる ほっと広場」みたいな感じですね。

(事務局)

事務局としては、「いきいき」の部分は、「笑顔」の中に包括していたイメージでした。いきいきしていて健康で、心も豊かで。安心の方はむしろ「ほっと」の方で、ほっとするような、温かい、包まれた感のある、そのようなイメージでは考えていたところです。

【会長】

「いきいきほっと広場」ですか。「ほっと」はイメージにも場所の形容詞にもどちらにも付けられるように思いますが、これは今日決めなければいけませんか。

(事務局)

前日も申し上げたのですが、最終的に懇談会の意見と、こちらにも出ています市民アンケートを踏まえまして、最終的に我々の方で調整させていただきたいと思います。皆様方としての意見ということで承れば構いません。2つぐらいでも勿論かまいません。

【会長】

分かりました。改めて、今日ご欠席の方もいらっしゃいますので、こんな感じになりましたがいかがでしょうか、と一応2つぐらい並べて挙げる、という感じにしておいた方がよろしいですか。ご欠席の委員もおられますので、最終的には4月の会議でもう一回決めるご予定はありますか。

(事務局)

会長が今おっしゃったように、ここで決めるということではなくて、欠席の委員もいらっしゃいますので、また意味付けも少し補強しながら、案を絞って意見を束ねるようにしたいと思います。ただ、そういう意見をいただきながらも、次回の会議では、この案でいかがでしょうか、とお伺いを立てたいと思います。

【会長】

分かりました。そうなりますと、こういう言葉の方が良いのではないかなど、皆様から意見をいただき、新たにこの方針でいく、ということでよろしいですか。

「ベース」という言葉はやめて「広場」という言葉にするということと、「みんなの」を入れたいということで、できれば「みんなの笑顔がつながる ほっと広場」や「みんなの笑顔がつながる いきいきあんしん広場」、というところよろしいでしょうか。

それから、追加資料で配付いただいた景観形成ガイドラインという資料を見ていただきたいのですが、白河市では景観形成ガイドラインをきちんと定めております。今回の施設は、市役所と書いてある所の右側にDと記載がありますので、この辺りはDゾーンです。DゾーンとHゾーンになるのですが、Dゾーンが小峰通り沿いということになります。次のページの説明にあるDゾーンを見ていただきますと、どちらかと言うと、通りに面した所に関しては、植栽を使うとか、小南湖に繋がるように緑を意識するなど、そういうことも検討しなければいけないという場所です。これは白河全体の地区での景観の話になりますので、参考までにご覧ください。何かございましたら、このような景観への配慮事項なども次回以降のご意見で賜れればと思っています。

会議終了後に回収する資料3については、この先どこまで話せばよろしいでしょうか。

（事務局）

本日はこのような施設イメージのものと、イメージを膨らませていただくためにお示ししもので、このように全く決まっているわけではありません。ご覧になった範囲で、もし何かご意見があれば、今の段階でいただければ、そういうものを参考にしながら、より内容を詰めていければと思います。

【会長】

この資料をご覧になった時に、こういう平面図はいただけない、と思われた方がいるかもしれません。そうではなくて、面積を計算するために、ただパズルのように詰め込んでいるだけですので、日の当たらない所に子育て支援が配置されているとか、そういうことではございません。大まかに捉えますと、3階建てで本庁舎に寄せたような形、施設の中に新たに駐車場を入れるという形、2階建てなのですが駐車場の上に2階が乗るということで、2階の上が空いて広く使える、という3案をご提案いただいています。

この3案に対して、今の時点で、皆様から何かご意見やご感想があればお願いします。

【委員】

市役所に立体駐車場という話が出ていますが、この駐車場は一般市民の方の来庁された方々とか、イベントに来られた方の駐車場という意味合いということでよろしいでしょうか。

(事務局)

あくまで現在の市役所で必要になっている台数と、あと今度新しくできる複合施設で必要な台数を、基本的には整備したいと考えています。ただ、複合施設が出来た時に、その施設を使う方の他に、今おっしゃったように、何かイベントだとか、そういう場合のピークというのはどのぐらいになるか、というのも参考にしております。最終的に必要最小限として、現在の市役所と複合施設が出来た時に、そこに入る機能から、どのぐらい台数が必要か、現在のものとそれを足した分を考えております。それに併せて、例えばイベントなんかを想定した時に、何か行事があった時として、市で言いますと、確定申告の時期ですとか、市議会が開催される時期ですとか、そういう時は駐車台数が増えます。そういうものを想定して、ピークの時にも対応できるかどうかというのを最終的に勘案した上で、台数というのを決めていきたいというふうに考えています。今回お示ししたのは、あくまで最大取れればというところで、例えば市役所の裏側に、4階建てのぎっちり立体駐車場を造ってしまうと、せっかくの谷津田川沿いの景観があるのではないかといった問題も係ってきます。必ずしもこの絵に描いたように、きっちり全部、あるいは市役所の北側の正面玄関側の駐車場も、公園部分を全く無くして駐車場だけ殺伐とあっていいのか、という議論も必要です。今後もう少し検討する余地はあるのですが、最大取るとすれば、このぐらいではないか、という図になってございます。ですので、これもまだ検討の余地はございます。

【会長】

このイメージ図は、計画に盛り込むものでしょうか。若しくは、あくまで施設のイメージを我々に見せたもので、基本計画には掲載しないものでしょうか。

(事務局)

この内容を掲載するかどうかは検討しているところです。掲載する場合には、1案に絞るのか、3案提示でいくのかも含めて、今後お示ししたいと思っております。

【会長】

分かりました。他に皆様から何かございましたら、ご発言をお願いいたします。

(事務局)

今回は、中間案という形で計画書の整理をして、パブリックコメントに臨みたいというふうに考えております。中間案を広く市民の皆様にお示しして、そこで中間案に対してご意見をいただきます。中間案で市民の皆様から出た意見を整理して、反映すべきものは反映していく、というふうなことで考えております。後に、パブリックコメントをやりながらも、中間案ですので、計画を細部に渡ってお示しすることが出来ない部分も

あろうかと思えます。今度は4月に予定をしているのですが、5月、6月と1回ずつまたこの懇談会を開いていきたい、というふうに考えております。

【会長】

では、委員の皆様からのご意見・ご質問等がこれ以上はないようですので、皆様から色々今日ご意見いただきましたものを踏まえまして、整理・検討の上、第5回懇談会で、整備基本計画の素案を示していただく、ということになります。

この場では追加でのご意見・ご質問はございませんでしたが、何かたたき台の中でも気になることがあれば、事務局にご遠慮なくお伝えいただければと思います。この場で気が付かなくても後日何か気になることが、ということがありましたら、随時、事務局にお伝えいただければと思います。

では、その他についてお願いします。

(事務局)

いま会長からもご連絡していただいたのですが、たたき台で気になった点や、こうした方がいい、というご意見がございましたら、事務局の方に遠慮なくご連絡ください。また、資料1の前の懇談会の皆様の意見の一覧と、今日お渡ししました第3回懇談会の議事録について、内容に修正とかございましたら、そちらも併せまして、事務局までご連絡ください。本日お配りした資料3については、本日回収いたします。

また、次回の懇談会なのですが、次第の(2)でございませうように、4月28日(火)にマイタウン白河2階、中会議室3で午後1時30分から開催いたします。その他については以上でございませう。

【会長】

予定していた議題は以上になりますが、皆様から何かございませうでしょうか。

では、事務局の方に進行を戻します。皆様のご協力ありがとうございました。

(事務局)

以上をもちまして、本日の懇談会を終了したいと思います。ご協力ありがとうございました。